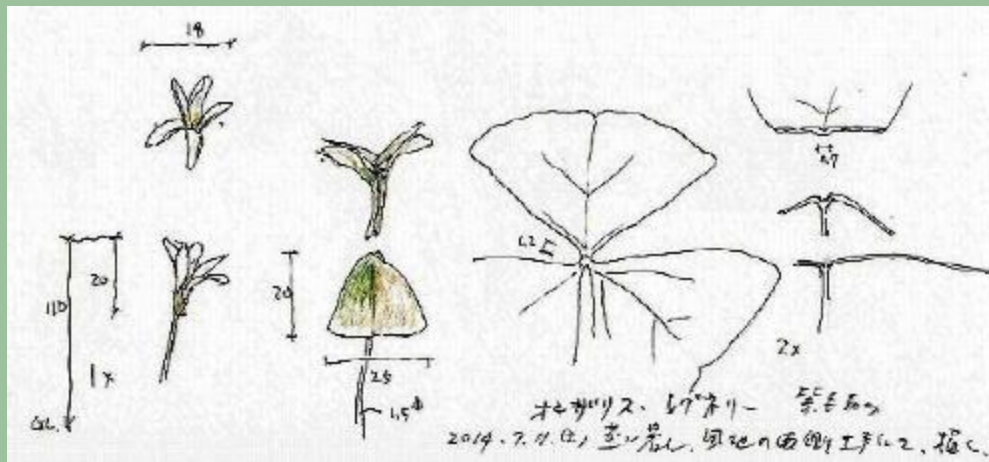


## 見沼たんぼ・野草スケッチ「オキザリス」

科名：カタバミ科 / カタバミ属（オキザリス属）

和名：ハナカタバミ（*O. bowiei*）など      その他の名前：オクサリス

花言葉 | 輝く心、心の輝き、喜び、母親の優しさ



P.S. オキザリスは、ピンク、黄色、白色などの花が春から秋にかけて咲いている。野草の黄色い小さな花のカタバミもこの手のもの。よって特に珍しさが無いが道端や庭の片隅でいつも咲いていて目を楽しませてくれる。 14.7.11 団地の庭にて



白色のオキザリス、三角形の葉の形が特徴

原産地：南アフリカのケープ地方。日本へは江戸時代に観賞用として渡来した。

生育地：多年草、一年草、カタバミの仲間です。800～850種があります。

茎：5～30cmぐらいのものが多い

葉：3小葉のものが多いのですが、4小葉のもの、5裂や10数裂するものもある。

花期：種により秋咲き、冬咲き、春咲き、四季咲きとさまざま。

花：花は夜間や雨天には閉じていて、日中の日ざしを受けると盃状やロート状に大きく開く。

四季咲きタイプ、夏期は休眠して秋から冬に開花するタイプ、冬期に休眠して春から夏に咲くタイプに分けられる。

花色：黄、白、ピンク、紫、オレンジ、複色。

果実：さく果

名前の由来：属名の *Oxalis* はギリシャ語の「oxys (酸っぱい)」に

由来する。この属の植物にはしゅう酸を含み酸っぱいものが多いことからきている。種小名の *bowiei* はイギリスの植物学者「ボウイ (J. Bowie) さんの」という意味である。